

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 1 年 6 月 25 日

秋田県知事 佐竹敬久 殿

提出者

住 所 秋田県由利本荘市矢島町七日町字曲り渕158番地1

氏 名 山科建設株式会社

代表取締役 山科

電話番号 0184-55-2211



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、平成30年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	山科建設株式会社
事業場の所在地	秋田県由利本荘市矢島町七日町字曲り渕158番地1
事業の種類	建設業・総合建設業・一般土木建築工事
産業廃棄物処理計画における 計画期間	平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

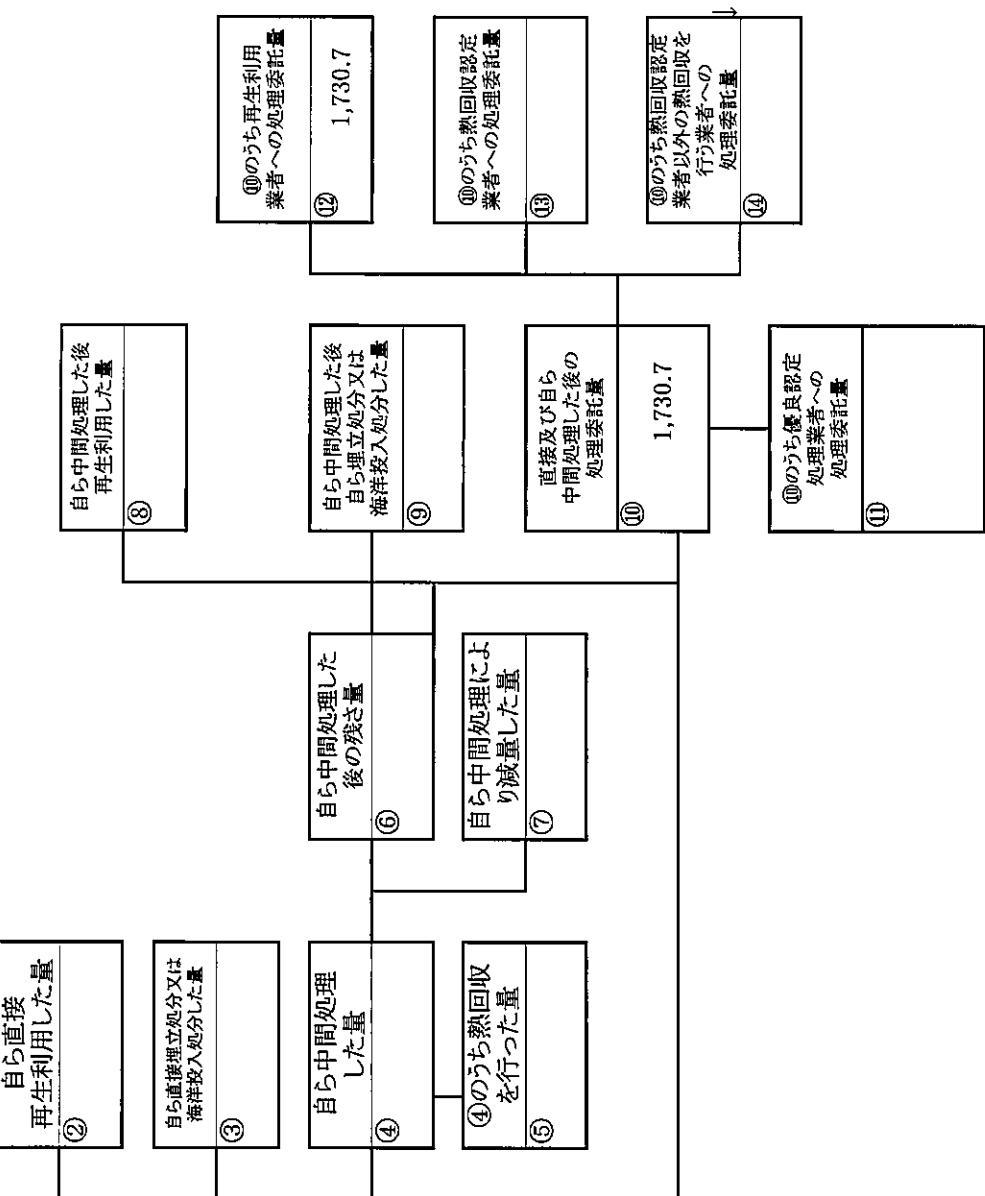
項目	目標値	項目	目標値
排出量	7,610.433 t 6605.75	全処理委託量	7,610.433 t 6605.75
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	優良認定処理業者への 処理委託量	- t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	再生利用業者への 処理委託量	6605.75 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	- t	認定熱回収業者への 処理委託量	- t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	- t
※事務処理欄			

(日本工業規格 収容4番
- 1.6.28
D-08-
第 号)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：コンクリートがら

計画の実施状況	
項目	実績値
① 排出量	1,730.7
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら理立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	1,730.7
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	1,730.7
⑬ 热回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 热回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

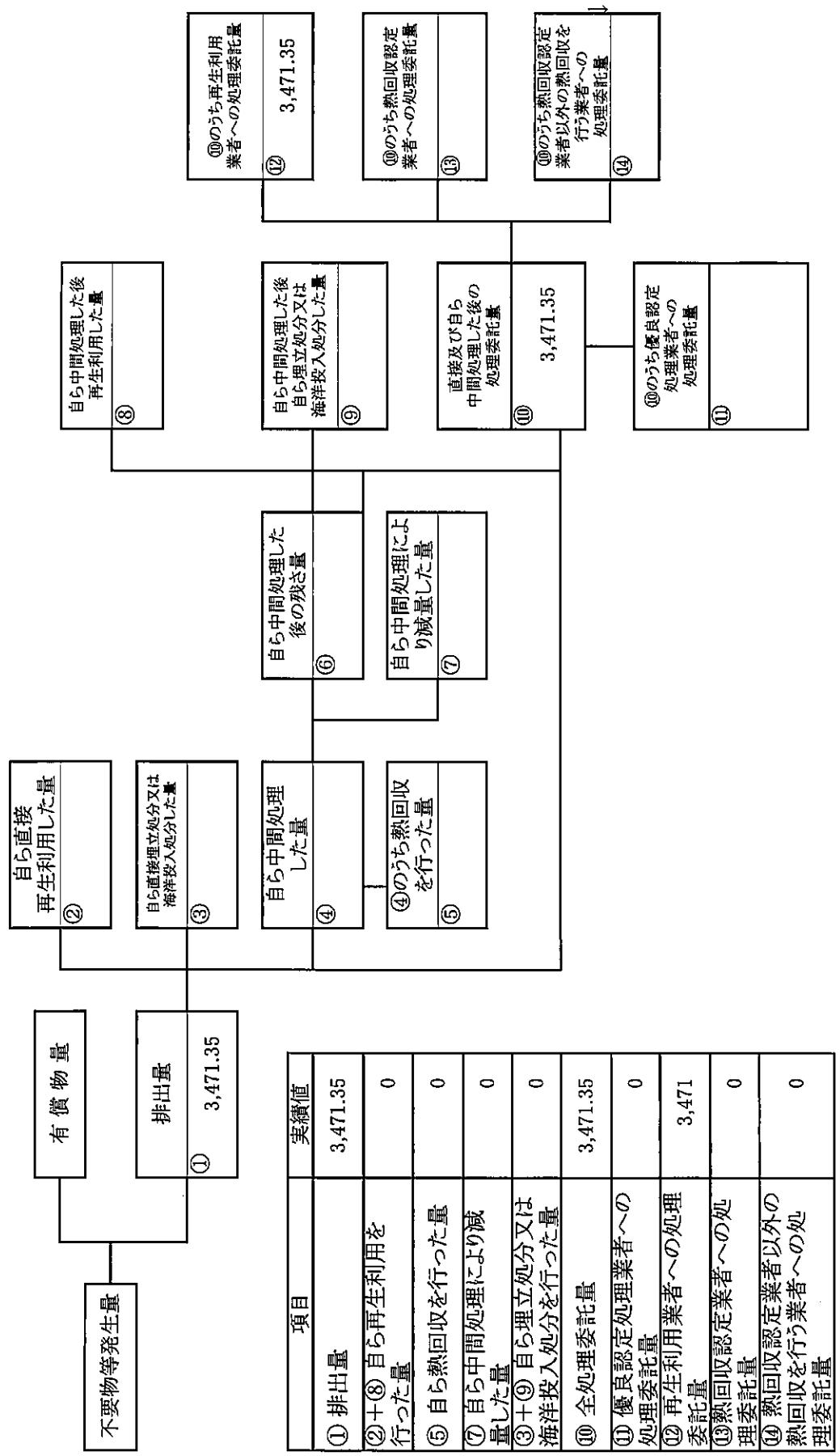


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： アスコンがら)

)



(第3面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： その他がれき類)

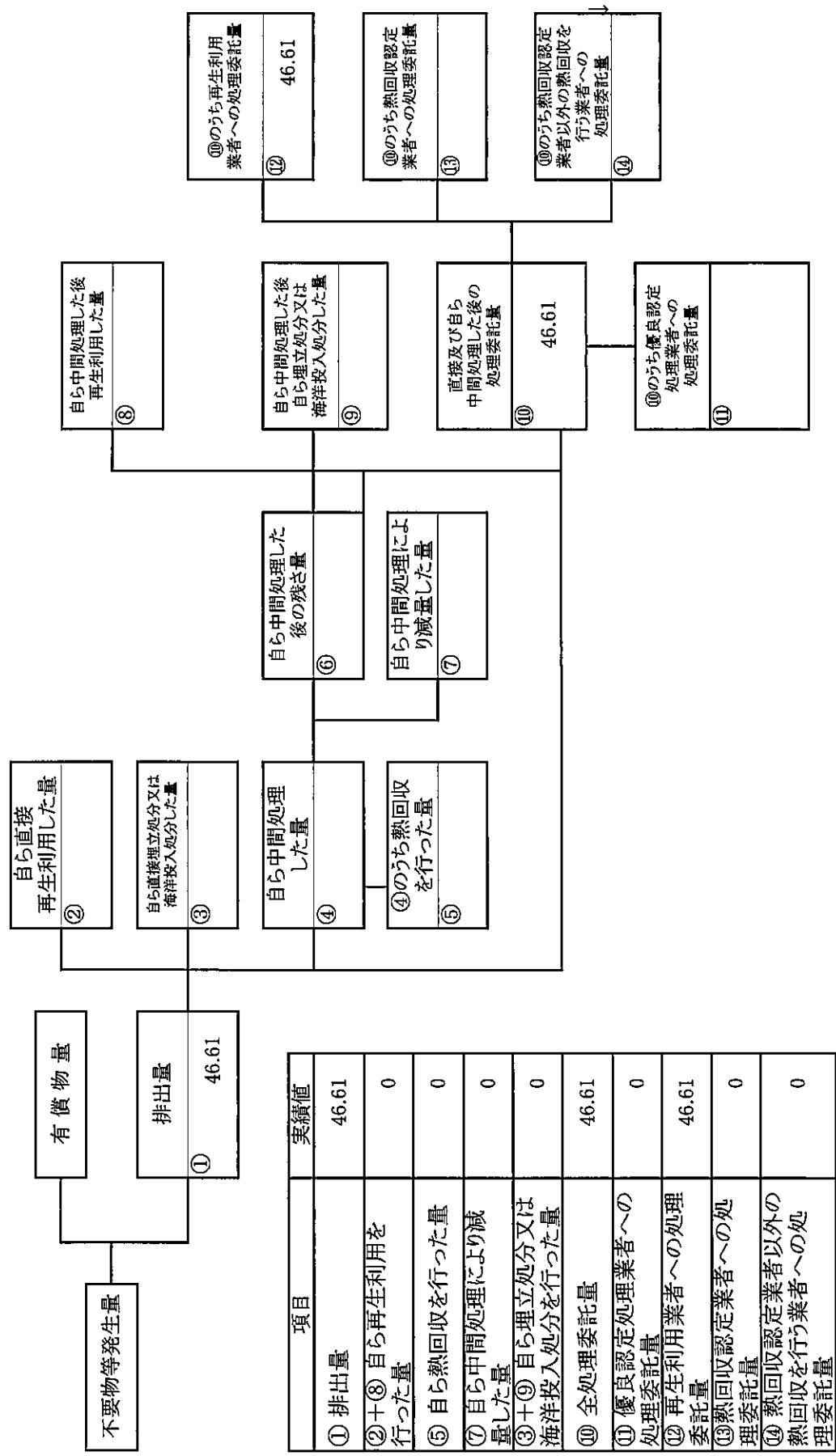
項目	実績値	有償物量	排出量	自ら直接再生利用した量	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	自ら中間処理した量	自ら中間処理による減量した量	自ら中間処理によって減量した量	直接及び自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理した後自ら再生利用した量	自ら中間処理した後再生利用した量	⑧
① 排出量	17.70											
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0											
⑤ 自ら熱回収を行った量	0											
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0											
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0											
⑪ 全処理委託量	17.70											
⑪ 優良認定業者への処理委託量	0											
⑫ 再生利用業者への処理委託量	17.70											
⑬ 热回収認定業者への処理委託量	0											
⑭ 热回収を行う業者への処理委託量	0											
⑫+⑬+⑭ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	17.70											
⑮ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0											
⑯ ⑩のうち热回収を行う業者への処理委託量	17.70											
⑰ ⑪のうち優良認定業者への処理委託量	0											

(第4面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラス・陶磁器くず

2



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック)

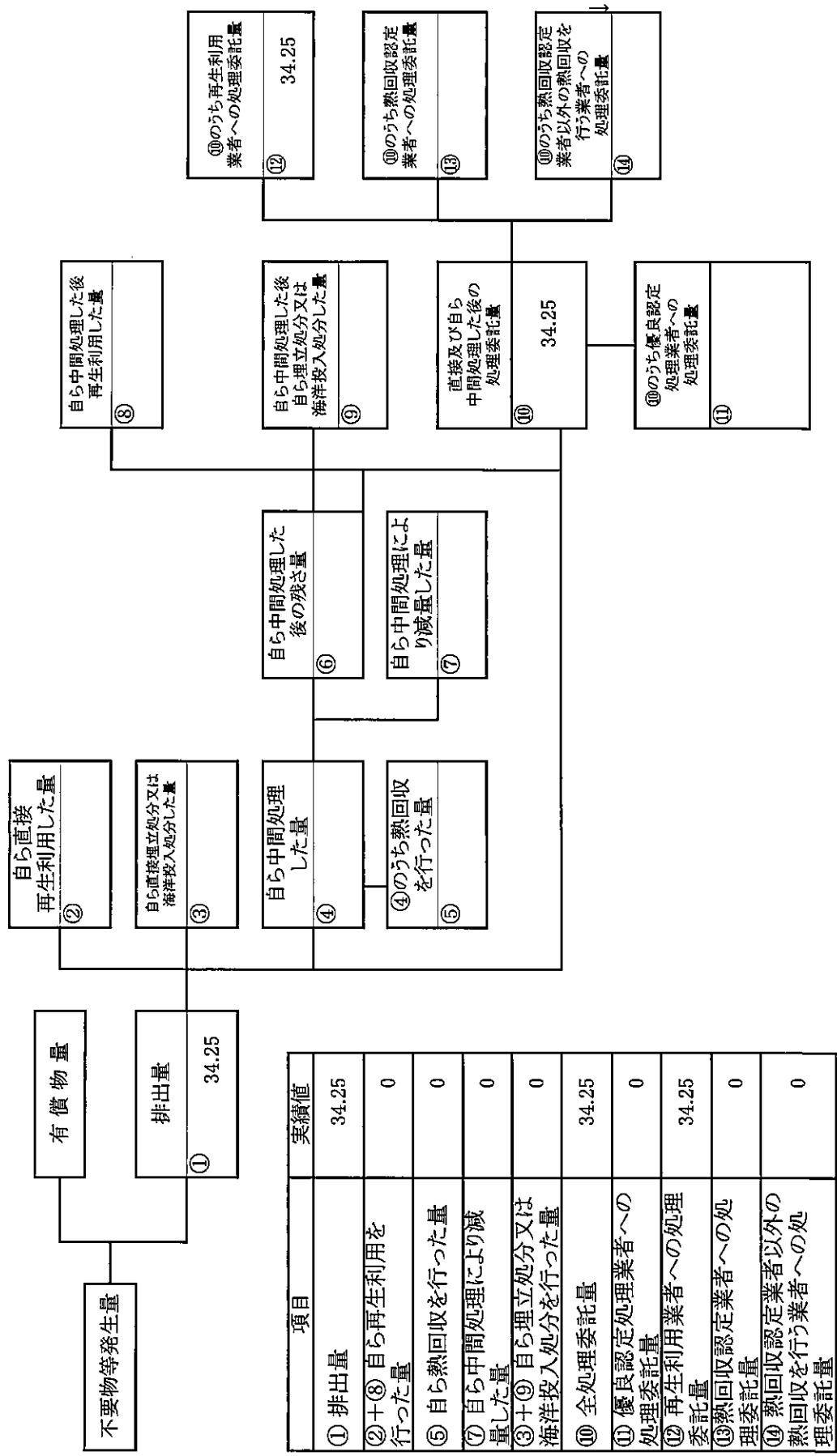
項目	実績値
① 排出量	89.292
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑪ 全処理委託量	89.292
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	89.292
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収を行う業者への処理委託量	0
有償物量	
不要物等発生量	
自ら直接 再生利用した量	②
自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	③
自ら中間処理 した量	④
④のうち熱回収 を行った量	⑤
自ら中間処理によ り減量した量	⑥
自ら中間処理した後 又は 海洋投入処分した量	⑨
自ら中間処理した後 後 再生利用した量	⑫
⑫のうち再生利用 業者への処理委託量	89.292
自ら中間処理した後 又は 海洋投入処分した量	⑩
⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑪
直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑫
⑫のうち熱回収認定 業者以外の熱回収を 行う業者への 処理委託量	⑭
⑭のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑪

(第6面)

計画の実施状況

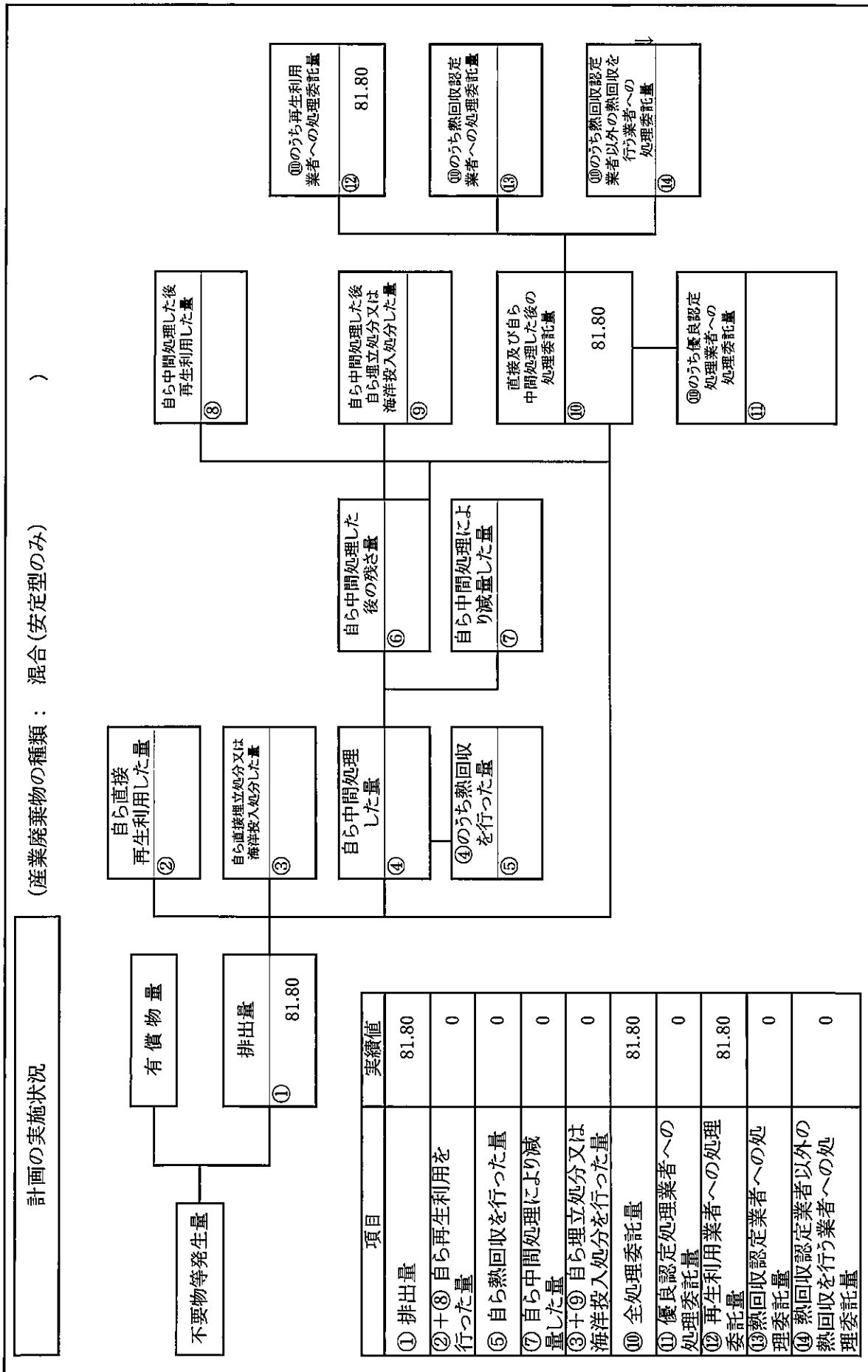
(産業廃棄物の種類： 金属くず)

)



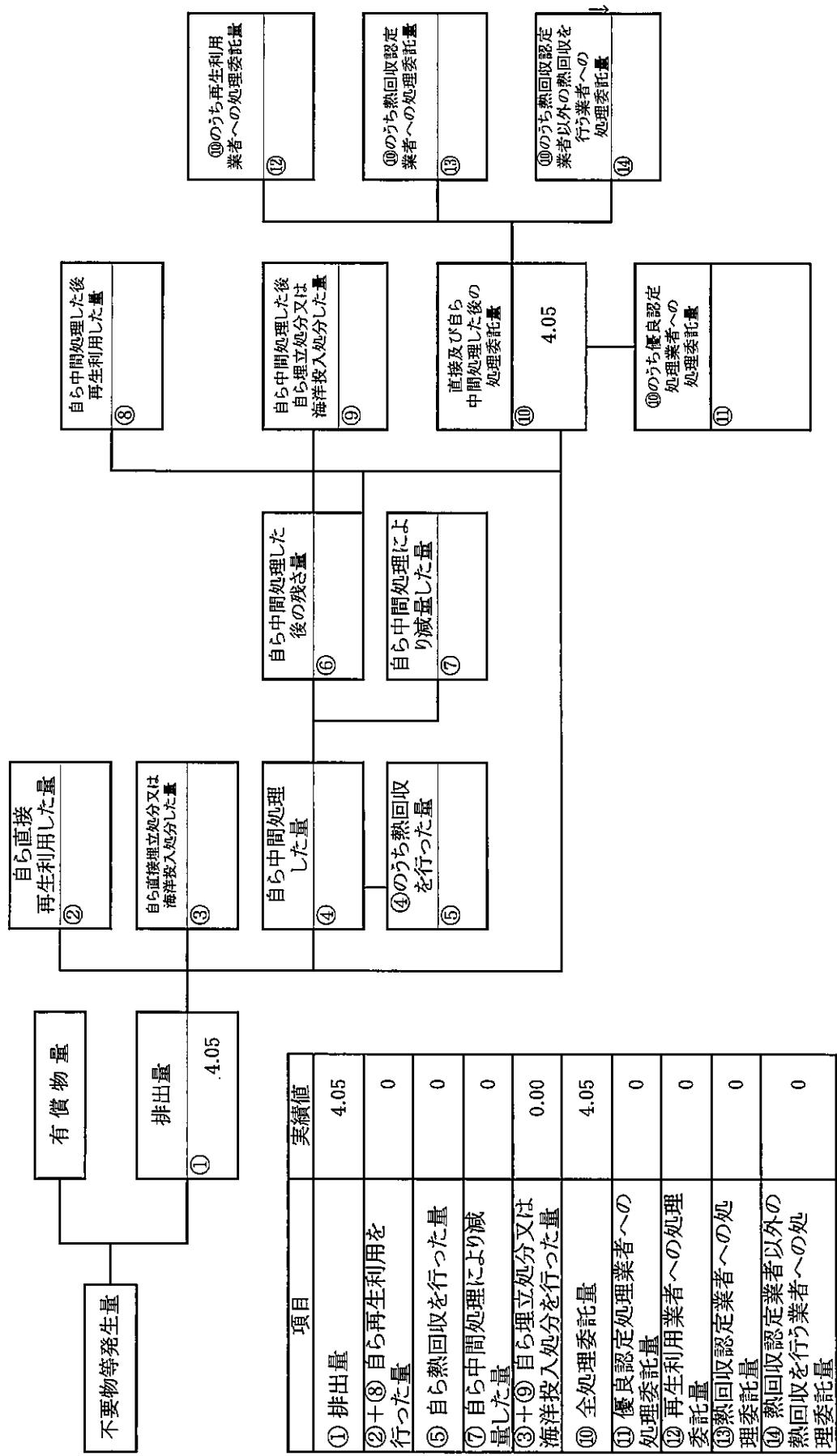
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 混合(安定型のみ))



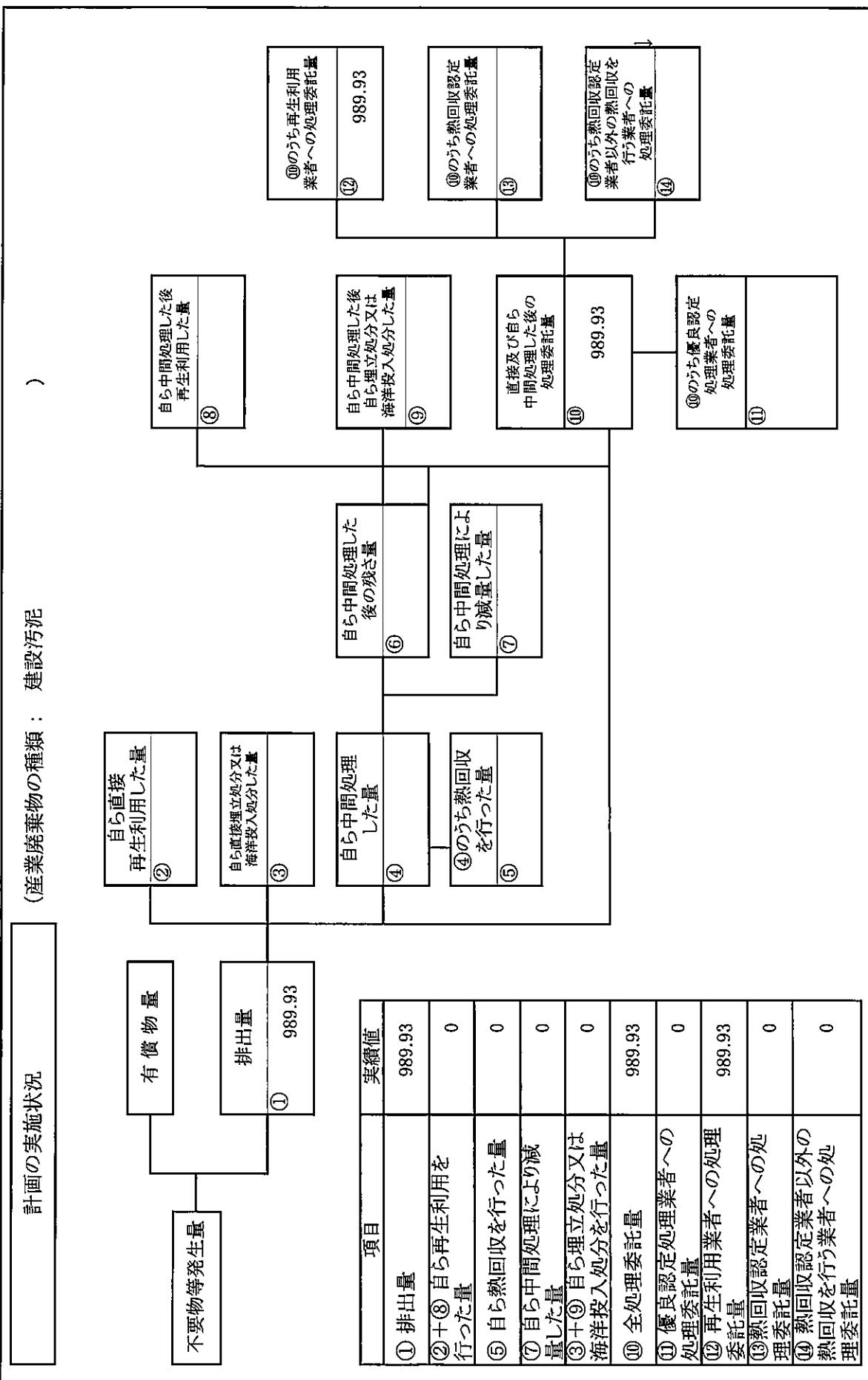
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 石綿含有産業廃棄物[安定型品目])



計画の実施状況

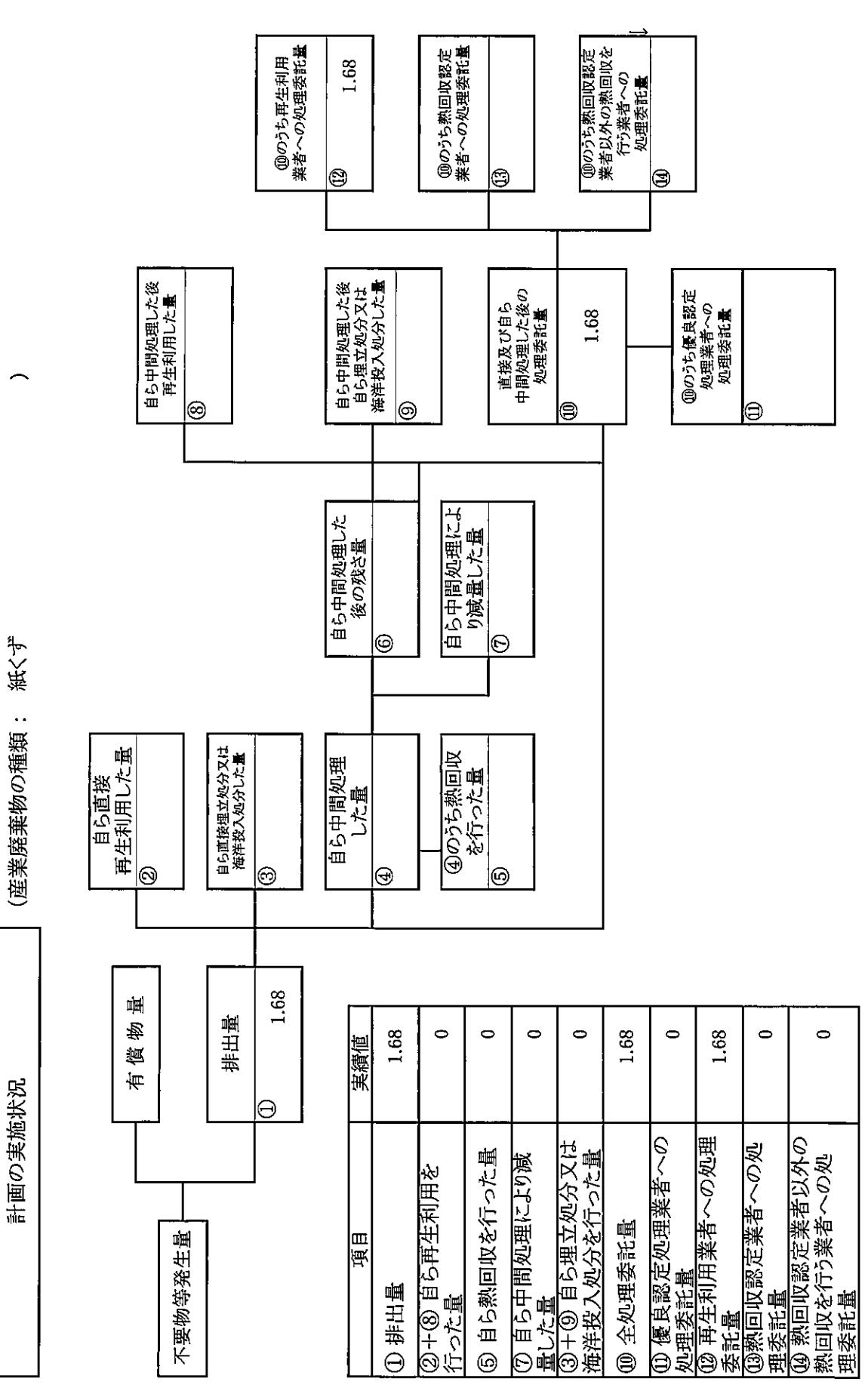
(産業廃棄物の種類： 建設汚泥)



(第10面)

計画の実施状況

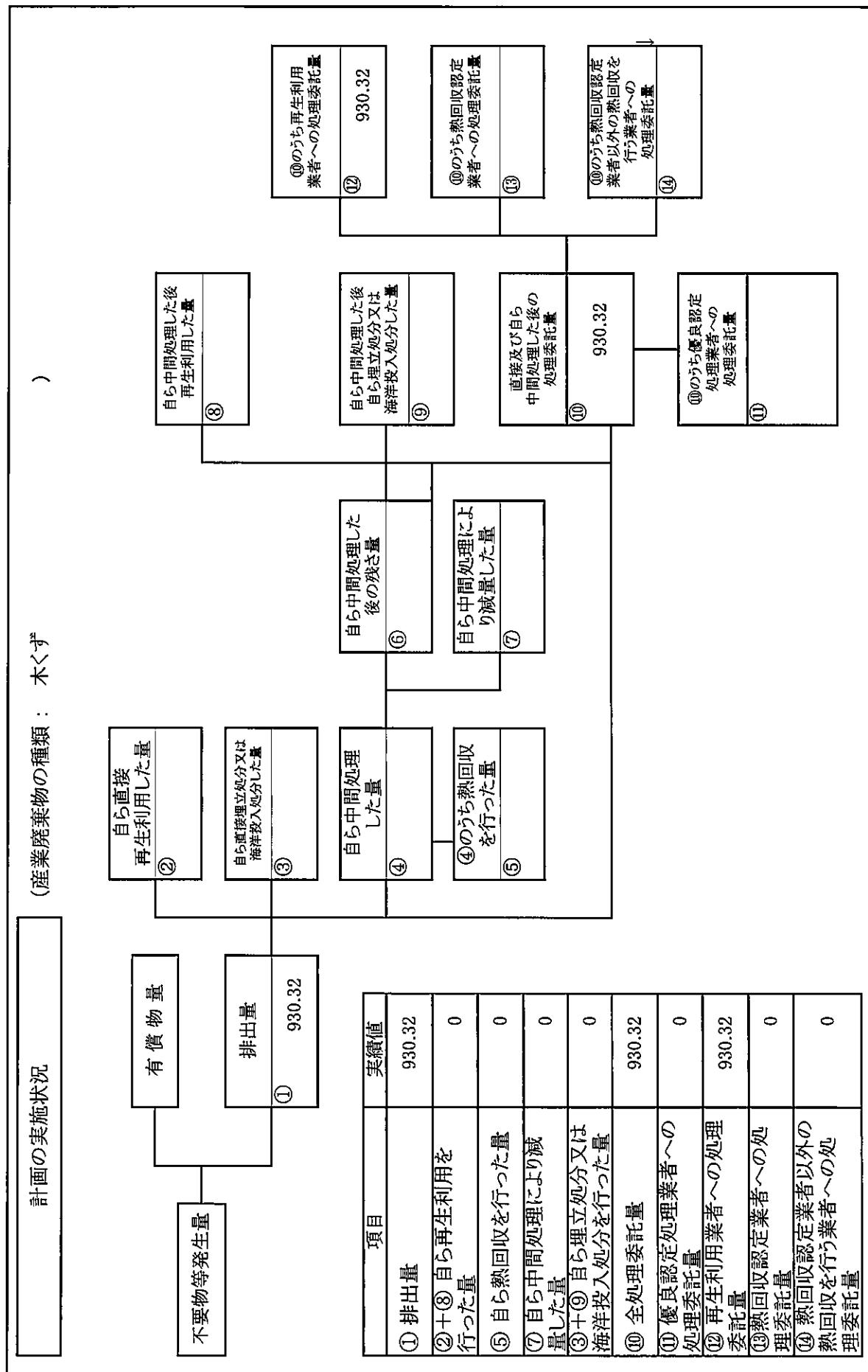
(産業廃棄物の種類：紙くず)



(第11面)

計画の実施状況

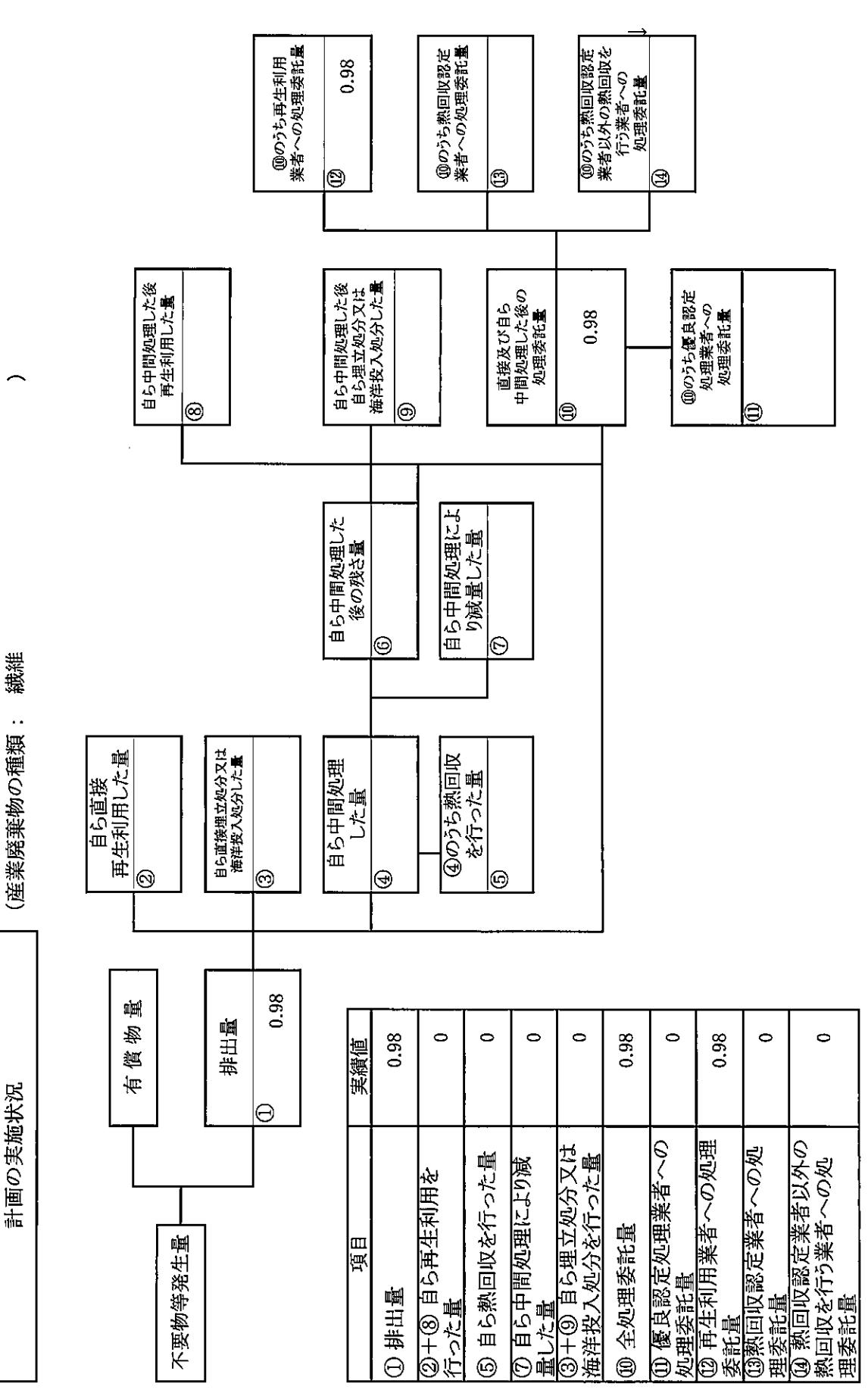
(産業廃棄物の種類：木くず)



(第12面)

計画の実施状況

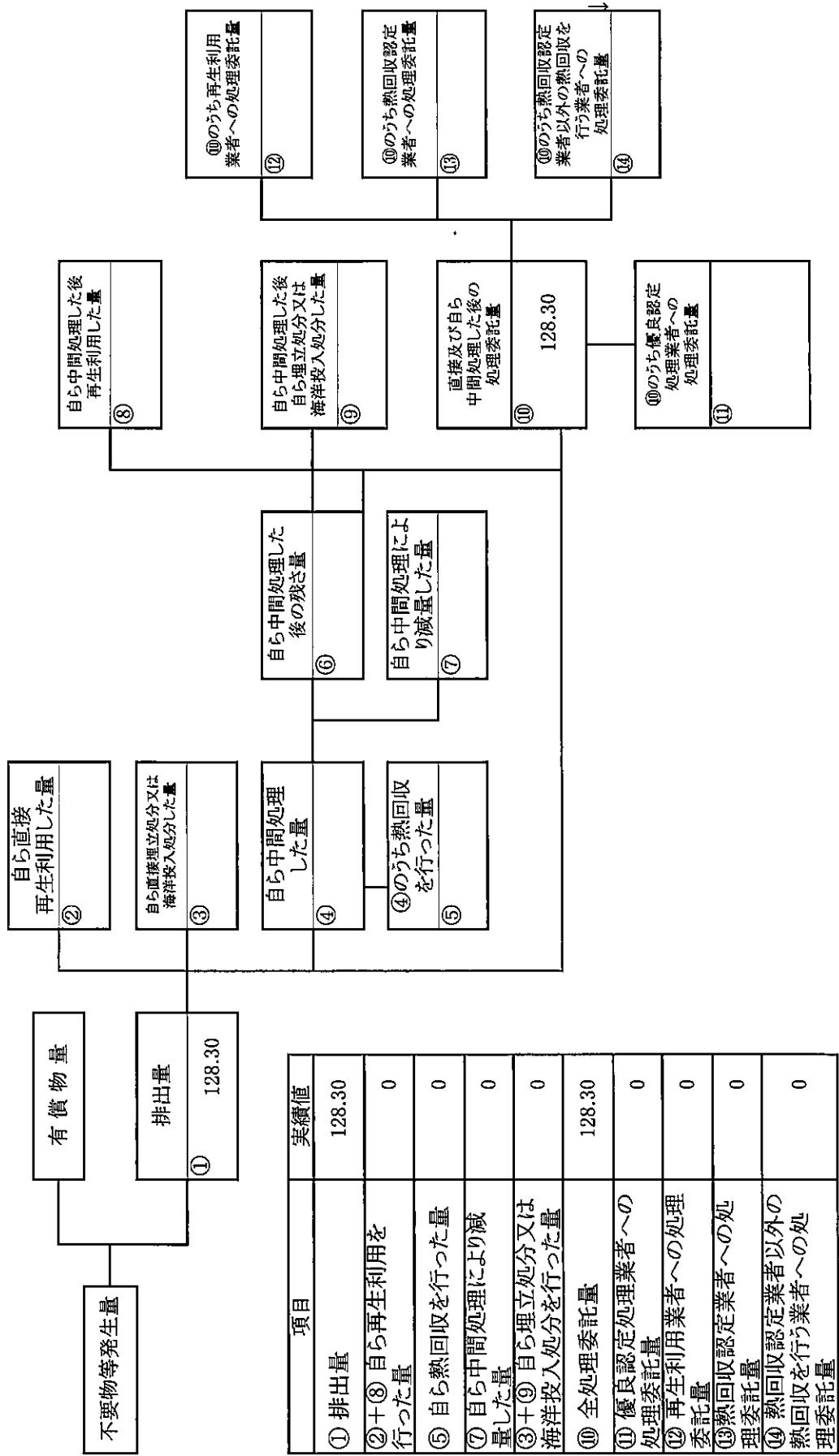
(産業廃棄物の種類： 細繊維)



計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：） 廃石膏ボード

1



計画の実施状況

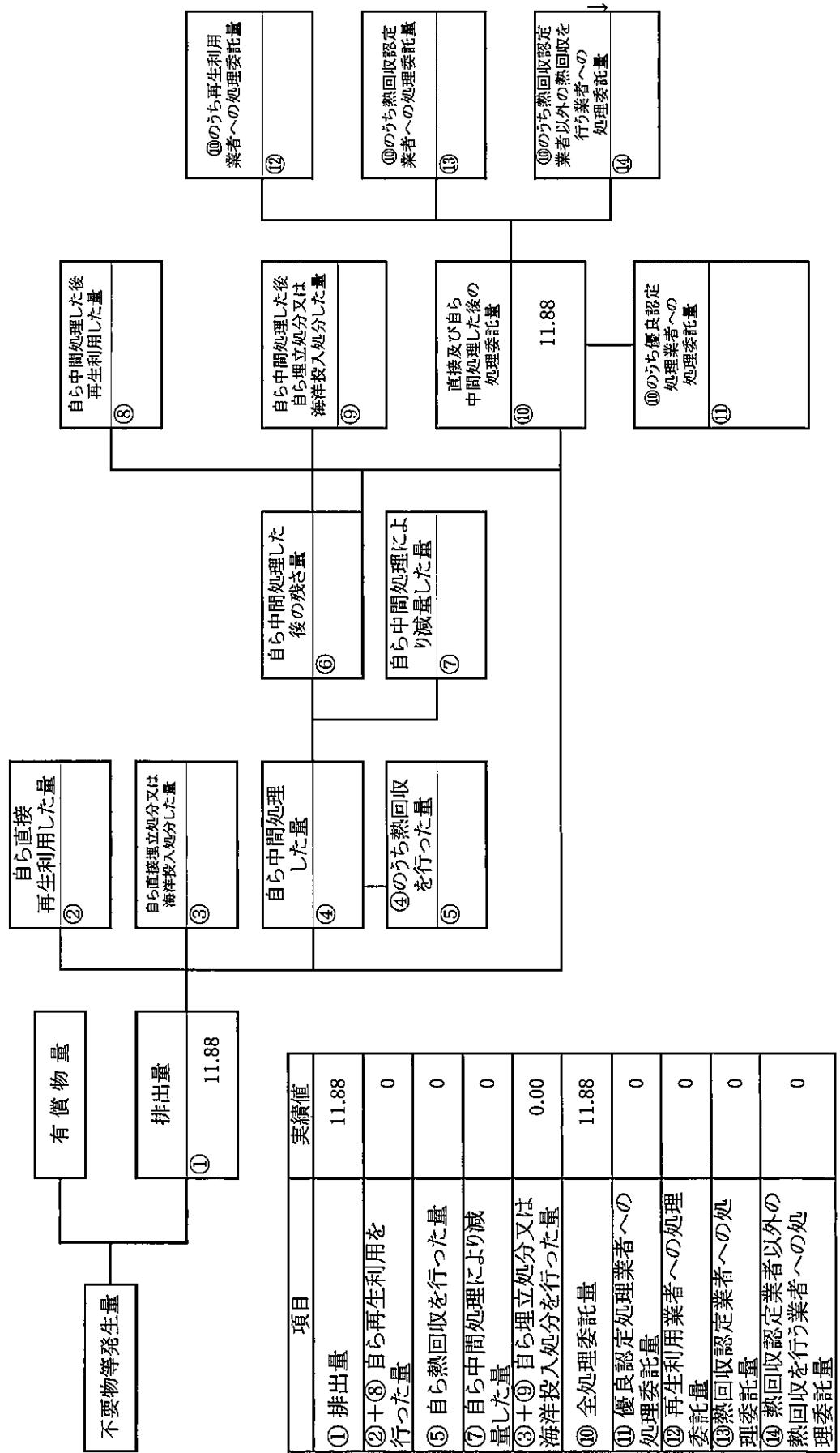
(産業廃棄物の種類： 混合(管理型合併))

項目	実績値
① 排出量	69.82
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑥ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	69.82
⑪ 優良認定業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	69.82
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収を行う業者への処理委託量	0
⑤ (4)のうち熱回収を行った量	
④ 自ら中間処理を行った量	
⑨ 自ら中間処理により減量した量	
⑥+⑦+⑨ (自ら中間処理した後、直接及び自ら中間処理した後の残さ量)	
⑩+⑪+⑫+⑬+⑭ (自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量)	
②+③+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭ (自ら直接再生利用した量)	
①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭ (有償物量)	69.82
②+③ (自ら直接再生利用した量)	
④+⑤ (自ら直接再生利用した量)	
⑥+⑦+⑨ (自ら直接再生利用した量)	
⑧ (自ら直接再生利用した量)	
⑩+⑪+⑫+⑬+⑭ (自ら直接再生利用した量)	
⑪+⑫+⑬+⑭ (自ら直接再生利用した量)	
⑫+⑬+⑭ (自ら直接再生利用した量)	
⑬+⑭ (自ら直接再生利用した量)	
⑭ (自ら直接再生利用した量)	
①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭ (自ら直接再生利用した量)	69.82

(第15面)

計画の実施状況

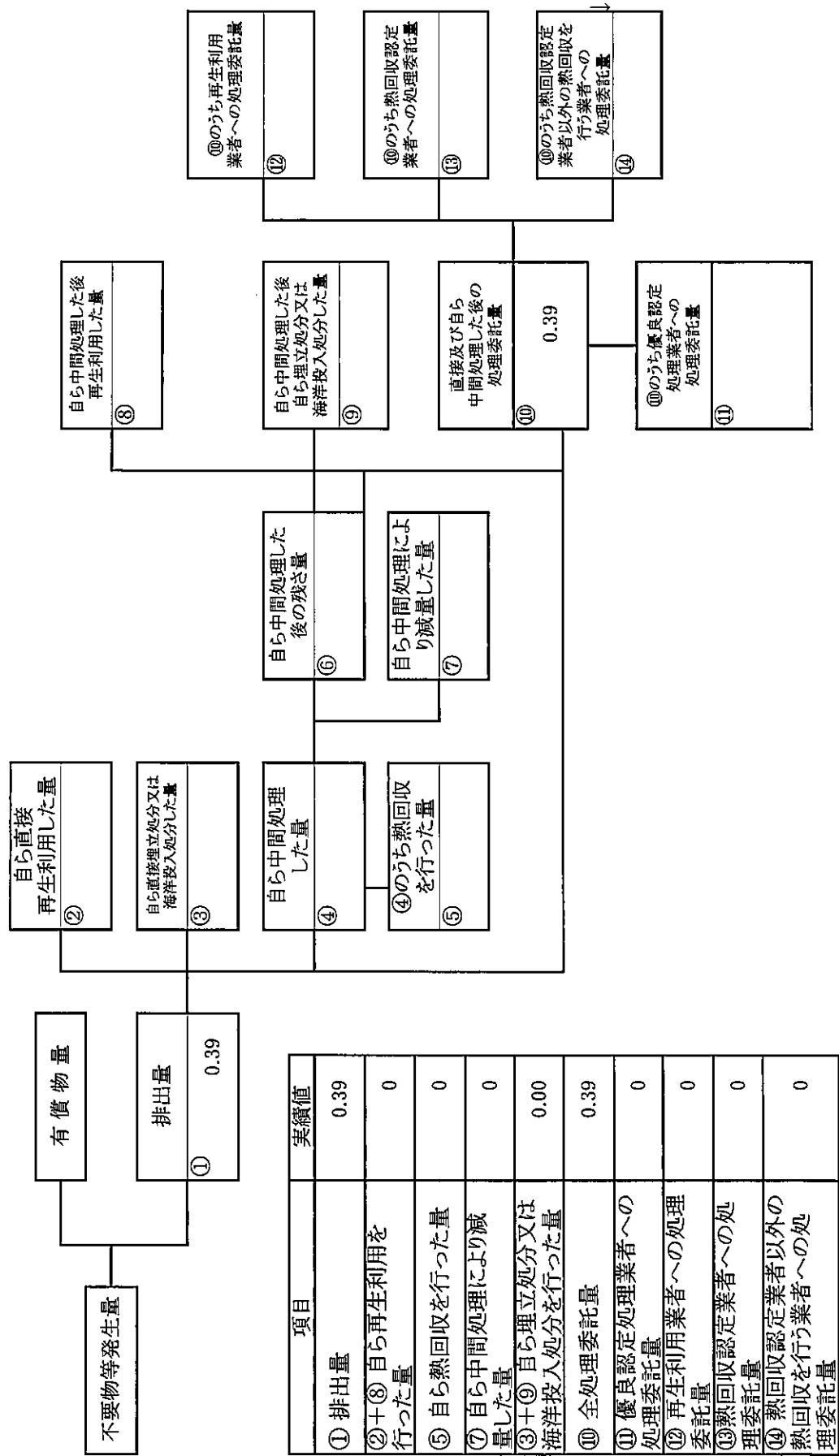
(産業廃棄物の種類： 石綿含有産業廃棄物[管理型品目])



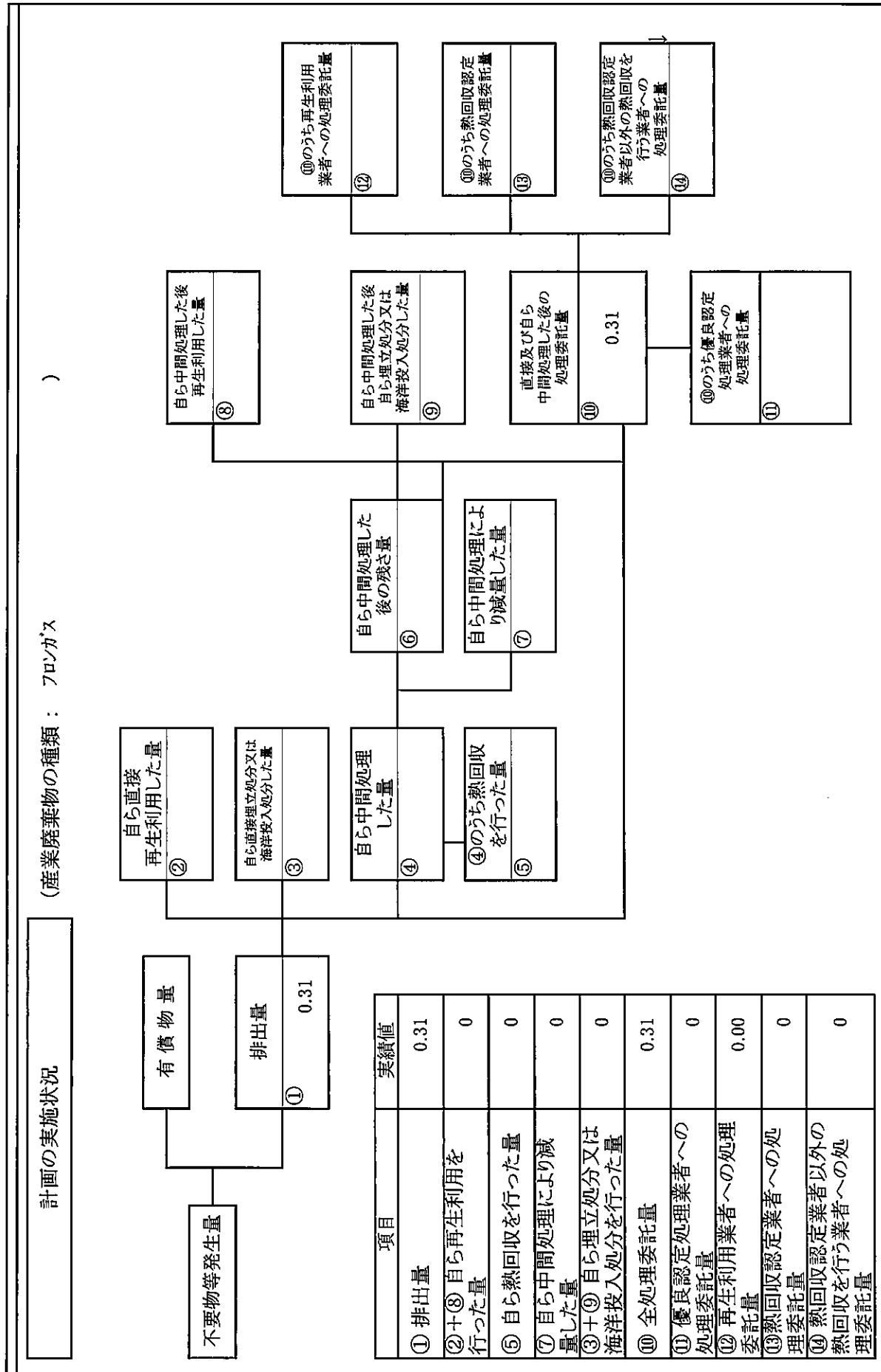
(第16面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 石綿含有産業廃棄物[特別管理品目])



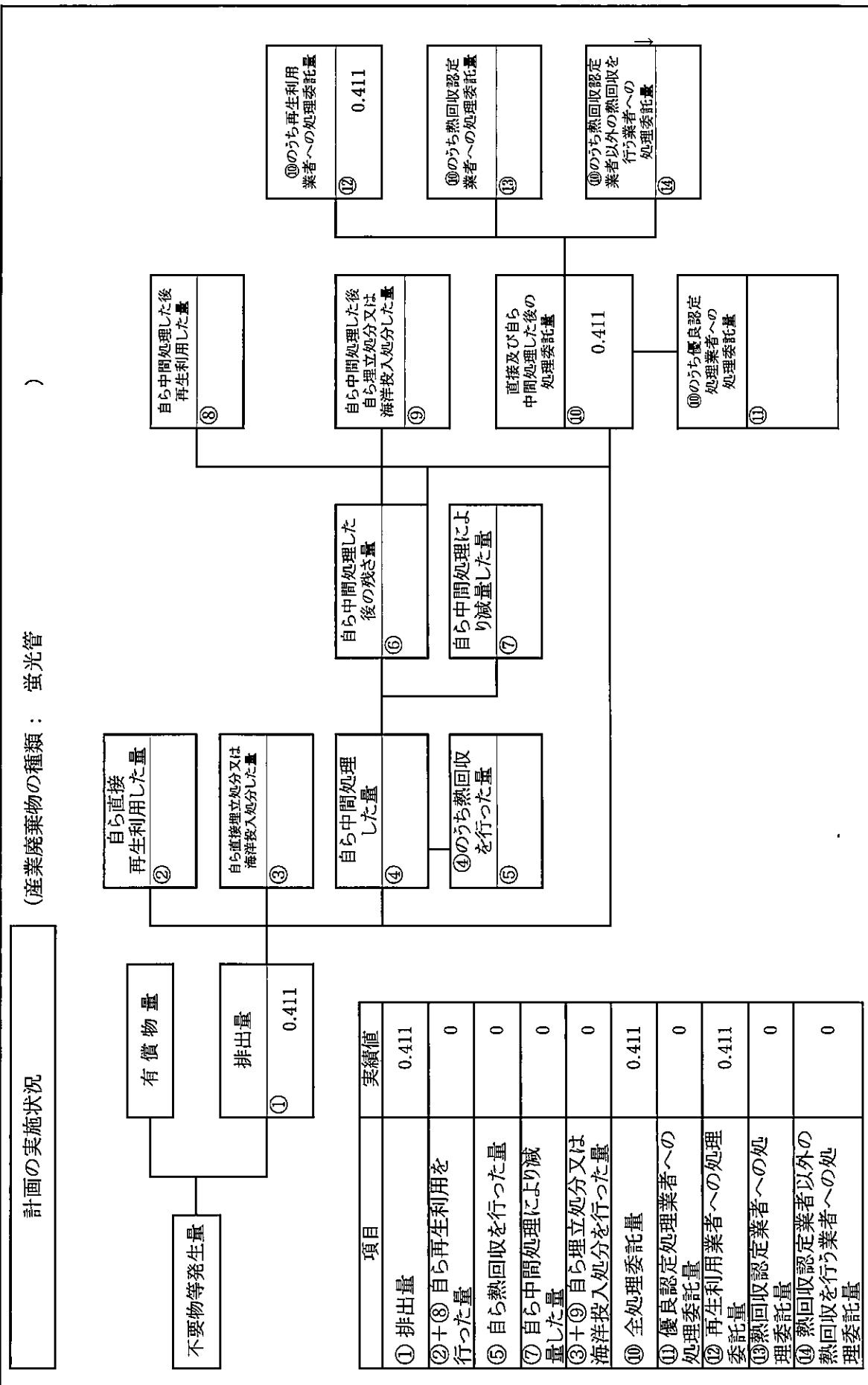
(第17面)



計画の実施状況

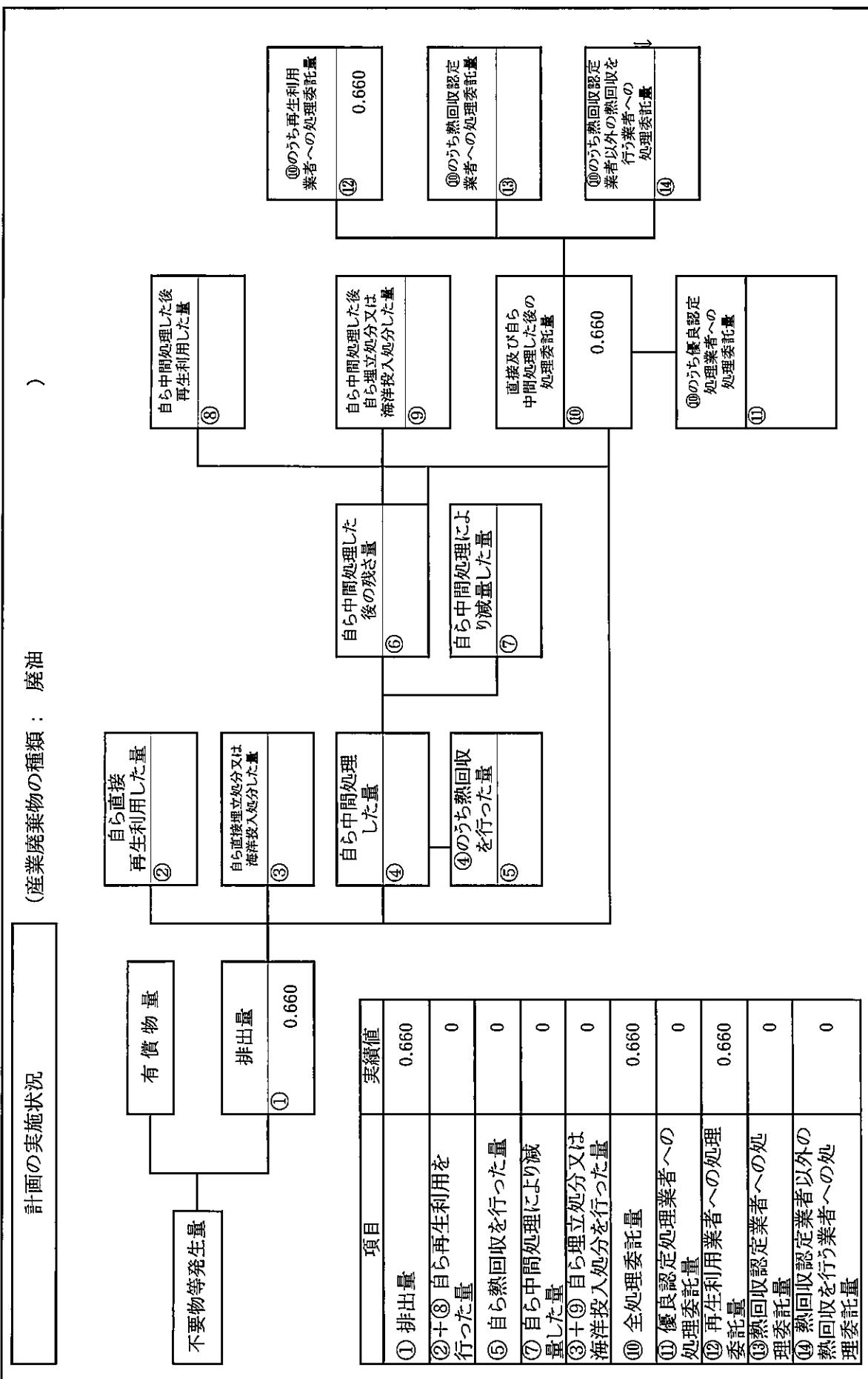
(産業廃棄物の種類：蛍光管)

)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃油)



別添

	発生量の目標	①産業廃棄物 排出量	②自己直接 再生利用量	③自己直接埋 立処分又は 海洋投入量	④自己中間 処理量	⑤自己中間 処理残さ量	⑥自己中間處理 後再生利用量	⑦自己中間處理 後直接埋立処分 又は海洋投人量	再生	中間処理 (再生以外)	⑨委託処分量
焼プラス チック	塩ビ管 他	89.292	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	89.292	0.00	0.00
ゴムくず	小計	45.76	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	89.292	0.00	0.00
その他	小計	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
金屬くず	小計	17.700	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	17.70	0.00	0.00
ガラス・陶 磁器くず	小計	214.02	77.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	34.25	0.00	0.00
ガラス・陶 磁器くず	鉄筋くず 他	34.250	34.250	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	34.25	0.00	0.00
ガラス・陶 磁器くず	ガラス・陶器	46.610	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	46.61	0.00	0.00
がれき類	小計	35.02	16.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	46.61	0.00	0.00
アスがら コンがら	小計	3471.350	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3471.35	0.00	0.00
汚泥	小計	1730.700	5202.050	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1730.70	0.00	0.00
木くず	小計	62.24	9303.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	9303.22	0.00	0.00
紙くず	小計	1.680	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	989.93
繊維くず	小計	16.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	989.93
残土	小計	0.980	0.980	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.98
石綿	小計	17.46	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.98
石膏	小計	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
電線くず	小計	16.320	16.320	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	16.32
蛍光管	小計	128.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	128.30
プロパン	小計	0.411	0.411	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.411
麻油	小計	0.310	0.310	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.31
建設混合廃棄物	小計	0.660	0.660	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.66
建設混合廃棄物	小計	151.620	151.620	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	151.62
建設混合廃棄物	小計	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物	小計	6605.76	7610.43	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	6321.902	0.000	1288.531

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。